

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 30 日

鳥取県西部総合事務所長 様

提出者

住所 鳥取県米子市蚊屋241

氏 名 イワタ建設株式会社

代表取締役 岩田義美

電話番号 0859-27-0099

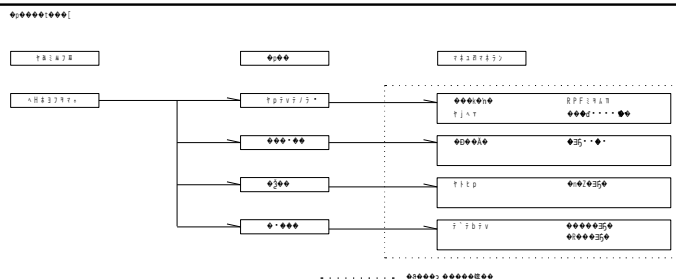
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	イワタ建設株式会社
事業場の所在 地	鳥取県米子市蚊屋 2 4 1
計画期 間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1 事業の種 類	06 総合建設業
2 事業の規 模	土木建築工事施工 （工事完工高 6 7 6， 0 3 6 千円）
3 従業員 数	2 9 人

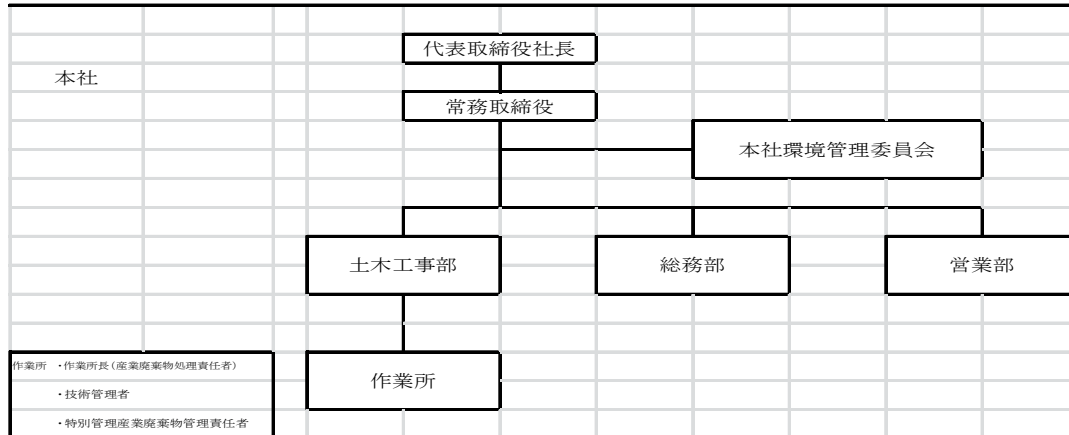
④産業廃棄物の一連の処理の工程



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状

【前年度（ 3 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき 類	廃プラスチ ック類	木くず	混合	そ の 他
排出 量	3197 t	13 t	43 t	3 t	3 t

(これまでに実施した取組)

発生する廃棄物の種類、発生状況等の留意事項を整理し、従業員に定期的に教育研修を行った。
軟弱地盤における地下工事の工法を改善し汚泥の発生を抑制した。
分別の推進。

2 計画

【目標】 排出量前年比 5 パーセント削減

産業廃棄物の種類	がれき 類	廃プラスチ ック類	木くず	混合	そ の 他
排出 量	3037 t	13 t	41 t	3 t	3 t

(今後実施する予定の取組)

施工材料の搬入数量を適性に管理する。
混合されているものは分別する。
工場で建築資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。
必要のない梱包材は、発送時点で抑制する。
社内メールを活用し廃棄物に対する情報提供を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (AS ・ CON) ・ 廃プラ ・ 木くず ・ 紙くず ・ 汚泥 上記廃棄物の分別解体
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年通り＋金属類 (鉄と非鉄) 混合廃棄物となる比率の低減

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら行う産業廃棄物の再生利用は行わない予定。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		

	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	—
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t
		(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う産業廃棄物の中間処理は行わない予定。	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行わない 予定。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	

		全処理委託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全処理委託 量	t	t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
※事務処理欄		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
現 状		前年度(令和3年度)実績								
産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	廃プラ類	廃プラ類	紙くず	木くず	鉄くず	建設混合廃棄物	汚泥
	コンクリート破片	アスコン破片	その他がれき	塩化ビニール製建設資材	廃タイヤ					建設汚泥
全処理委託量	2354	842	1	7	6	1	43	1	3	1
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	2354	842	1	7	6	1	43	1	3	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
これまで実施した取り組み										
発生する廃棄物の種類、発生状況等の留意事項を整理し、従業員に定期的に教育研修を行った。										
軟弱地盤における地下工事の工法を改善し汚泥の発生を抑制した。										
分別の推進。										
計 画		令和4年度【目 標】排出量前年比5パーセント削減								
産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	廃プラ類	廃プラ類	紙くず	木くず	鉄くず	建設混合廃棄物	汚泥
	コンクリート破片	アスコン破片	その他がれき	塩化ビニール製建設資材	廃タイヤ					建設汚泥
全処理委託量	2236	800	1	7	6	1	41	1	3	1
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	2236	800	1	7	6	1	41	1	3	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今後実施する予定の取り組み										
施工材料の搬入数量を適性に管理する。										
混合されているものは分別する。										
工場で建築資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。										
必要のない梱包材は、発送時点で抑制する。										
社内メールを活用し廃棄物に対する情報提供を行う。										